

学科名		プロフェッショナルデザイン科										
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ソーイング I									93			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目			○	経験内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー（東京コレクション参加ブランド）～婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。							
授業との関連性		アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。										
授業目的	・素材に合ったデザイン、カッティング、パターン、縫製仕様実習を通して学ぶ。											
	・素材の特性を理解し、デザイン、素材にあった縫製方法を学び、素材に関する知識、縫製技術を修得する											
到達目標	・自分の創作物(デザイン)の基となるものや方向性を見出す。											
	・想像するものを完成度の高い形に具現化し、コンセプトにあったもの作りができるようになる。											
	・目的に合った美しい服を制作する為のパターンと縫製方法を修得する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	18	＊サマーファッションコンテスト 作品2体製作 パターンチェック ↓ トワルチェック ↓										
5月	22	修正 ↓ 工業用パターン ↓ 裁断 ↓										
6月	24	縫製 ↓ 完成 ＊裏なしJKのデザイン案提出6月下旬9:20分 ＊7月上旬(金)1限目校内審査会										
7月	16	裏無しジャケットの製作を通して、素材、衣服のグレードに合った縫製方法を学ぶ ・部分縫い(裏無しベンツ 2種、袖口額縁始末、パイピング) ・パターン製作(課題対応) パターンチェック→トワルチェック→修正→工業用パターン→裁断→縫製										
8月	0	夏季休暇 パターンメーキング検定 2級 対策										
9月	13	裏無しジャケット 製作 9月中旬 シルエットチェック コート・まち作品 製作準備 素材・デザイン決め、パターン製作										
留意事項												
教材、資料等		・文化ファッション体系 服飾講座④・文化ファッション体系 服飾講座⑤ ・ヒロ・デザイン専門学校制作サンプル帳										
評価方法 対象・比重		・提出物80％・取組姿勢20％ ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名		プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○	
授業科目名									総単位時間数				
ソーイング I									120				
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%		
実務経験者の授業科目			○	経験内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。								
授業との関連性		アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。											
授業目的	・デザインに合った素材、カッティングを修得する。												
	・素材の特性を理解し、デザインに素材にあった縫製方法を学び、形にする。												
到達目標	・自分の創作物(デザイン)の基となる物や方向性を見出す。												
	・目的に合った美しい服としての縫製方法を学ぶ。												
授業内容(授業展開)													
時期	コマ数	授業内容											
10月	24	＜裏付きコート作品(条件まち入り素材:厚手、裏仕様:裾ふらせ)＞ ・腕の構造を理解し、動きや機能性を兼ね備えたまち作品の制作。 ＊コートの基本構造を学び、仕立てに沿ったパターン作り、縫製方法を理解する。 ＊着こみ分についてのパターン作成。＊素材に合ったパターン展開の作成。 ＊決められた期限内に各自がスケジュールを組み、スケジュール通りの作業が出来るようになる。											
11月	24	パターンチェック→ワルチェック→修正→工業用パターン→裁断→縫製 ＊シルエットチェック 11下旬											
12月	18	オリジナルショップ商品制作(最低8体) 各自オリジナリティがあり、売れる商品を制作する。 商品(原価)を意識した縫製効率と縫製仕様、縫製技術を修得する。											
1月	18	オリジナルショップ商品制作(最低8体) 各自オリジナリティがあり、売れる商品を制作する。 商品(原価)を意識した縫製効率と縫製仕様、縫製技術を修得する。											
2月	24	オリジナルショップ商品制作(最低8体) 各自オリジナリティがあり、売れる商品を制作する。 商品(原価)を意識した縫製効率と縫製仕様、縫製技術を修得する。											
		卒業企画発表											
3月	12	オリジナルショップ商品制作(最低8体) 各自オリジナリティがあり、売れる商品を制作する。 商品(原価)を意識した縫製効率と縫製仕様、縫製技術を修得する。 ＊オリジナルショップ開催時期(別途調整)											
留意事項													
教材、資料等		・文化ファッション体系 服飾講座④・文化ファッション体系 服飾講座⑤ ・ヒロ・デザイン専門学校制作サンプル帳											
評価方法 対象・比重		・提出物80％・取組姿勢20％ ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良 ^o (89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									16			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義	10	演習		実習	90	
授業目的	・ファッションドローイングの応用技術を高め、独自のアイデア表現のまとめ方の習得											
到達目標	・コンセプトやテーマを明確に意識したデザイン展開を行えるようになる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	13	各種コンテスト作品										
5月		・YKKファスニングアワード										
6月		・ナゴヤファッションコンテスト										
7月		・日暮里ファッションデザインコンテスト										
		・全国ファッションコンテスト ・連鎖校協会ファッションデザイン画コンクールなど										
	1	夏季休暇課題について										
9月	2	全国服飾学校コンクール作品(教育振興協会) 千年大賞										
留意事項												
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル										
評価方法 対象・比重		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									18			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義	20%	演習		実習	80%	
授業目的	・ファッションドローイングの応用技術を高め、独自のアイデア表現のまとめ方の習得											
到達目標	・コンセプト、テーマを明確に意識したデザイン展開と表現の習得											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	2	*コンテスト作品 ・全国服飾学校ファッション画コンクール										
11月	5	*マイコレクション(基になるスタイル5体) ・独自のコンセプト、テーマを考え、D画、アイテム画、素材をまとめる										
12月	7	*オリジナルコレクション ・マイコレクションから更にデザイン展開を考える										
1月												
2月	3	*ポートフォリオ作成 ・デザイン資料として次学年でも活用できるように、これまでの作品をファイルにまとめる										
3月	1	一年間のまとめ										
留意事項												
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル										
評価方法 対象・比重		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
ドレーピングⅠ									28			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・基本を理解し、ドレーピングで基本的なシルエットを出す技術を身に付ける。											
	・基本を理解し、ドレーピングで起こしたシルエットを平面パターン～ファーストパターンに展開できる知識を身に付ける。											
到達目標	・基本的なデザインのシャツ、パンツ、ワンピース、ジャケットのシルエット出しが出来るようになる。											
	・立体で応用が出来るようになる。また、想像するものを完成度の高い形に具現化する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	・前立てのある前中心ギャザー										
	2											
5月	2	・アンダーバスト切り替え										
	2											
	2	・ウエストからのドレープ										
2												
6月	2	・サイドネックからのドレープ										
	2											
	2	・PM検定JK対策①										
	2											
7月	2	・PM検定JK対策②										
	2											
9月	2	・PM検定JK対策③										
	2											
	2	・胸元ドレープ										
留意事項												
教材、資料等		・ドレーピングの基礎・ドレーピングの応用										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
ドレーピングⅠ									40			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・基本を理解し、ドレーピングで基本的なシルエットを出す技術を身に付ける。											
	・基本を理解し、ドレーピングで起こしたシルエットを平面パターン～ファーストパターンに展開できる知識を身に付ける。											
到達目標	・基本的なデザインのシャツ、パンツ、ワンピース、ジャケットのシルエット出しが出来るようになる。											
	・立体で応用が出来るようになる。また、想像するものを完成度の高い形に具現化する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	2	・ギャザー入りフレンチスリーブ										
	2											
	2	・カシュクールブラウス										
	2											
11月	2	・エルゴノミックワンピース										
	2											
	2											
	2	・パンツ										
12月	2	2面構成ジャケット										
	2											
	2											
	2											
1月	2	プリンセスラインジャケット										
	2											
2月	2	パネルラインジャケット										
	2											
		卒業企画発表										
	2	パネルラインジャケット										
3月		後期テスト 3面構成ジャケット										
	2											
	2											
	2											
		オリジナルショップ										
留意事項												
教材、資料等		・ドレーピングの基礎・ドレーピングの応用										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物30% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
パターンメイキングⅠ									69 コマ			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	100%	演習		実習		
授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、自分でパターン作成が出来るようになる。											
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用出来るようになる。											
到達目標	・パターンメイキング技術検定2級取得											
	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開が出来るようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	3	【ハイネックの基本講座】 *課題研究 PM検定2級対策 4面パネルライン										
	5	【様々な袖を作る上で腕の構造理解】 袖山の傾斜の機能を学ぶ。シャツ袖、セットインスリーブ *PM検定2級対策 4面プリンセスライン										
	5	【ラグランスリーブ】 *PM検定2級対策 3面										
	7	【裏無しジャケットの基本構造を知る】 縫い代始末方法、縫製、グレードによる縫製の違いについて理解する。 *PM検定2級対策 袖										
5月	14	【グレーディングの基礎】 ・グレーディングとは既製服の寸法JIS規格サイズ、ピッチ数ネスト図 ・ピッチ式グレーディング (身頃、袖、襟、スカート、パンツ、ジャケット、その他のアイテム) *PM検定2級対策 模擬 *PM検定2級対策 袖										
	5	【着物スリーブ】【まち入りスリーブ】 *PM検定2級対策 衿										
6月	7	【まち入りスリーブ】 【まち入りスリーブの応用】 *PM検定2級対策 模擬										
	3	PM検定2級対策 模擬・解説・質疑応答										
	PM検定2級(筆記)											
7月	5	【ドルマンスリーブ】 【エポレットスリーブ】 *衿・袖の理解(まち入りスリーブ(小テスト))										
	4	【襟応用デザイン】										
9月	9	【コートのパターン、仕様の理解】 前期テスト *コートデザイン 仕様・1/4製図 *コートデザイン 仕様・1/4製図										
	2	【応用デザイン】 様々なデザインのパターンを理解する事で各自の応用パターン作りができるようになる。										
留意事項												
教材、資料等		文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー										
評価方法 対象・比重		・製作物75%・提出物(レポート)10%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、 (GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科													
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○		
授業科目名									授業時間数					
パターンメイキングⅠ									96 コマ					
担当教員	井手 真由					科目区分	講義	100%	演習		実習			
授業目的	・基本的なパターン作成、展開の理論を理解し、自分でパターン作成が出来るようになる。													
	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作を理解し応用出来るようになる。													
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開が出来るようになる。													
授業内容(授業展開)														
時期	コマ数	授業内容												
10月	5	【まち裏使用】 着物スリーブ、まち入りの裏パターンの理論～基本的なまち入りの裏パターン作成を学ぶ										＊前期復習		
	10	【フード、フード応用】 フードの基本的な構造～パターン作成を学ぶ。 またフードの応用パターン作成方法を学ぶ。										＊コート 仕様・工程 ＊コート 仕様・工程まとめ		
	5	【ケープ】 ・ケープについて(形態、構造)～ケープの基本的なパターン作成方法を学ぶ										＊		
11月	18	【ニットについて】 種類・特性・扱い方 ニットの編地、特性を知る＊ニットパターンの考え方の理解										＊ ＊ ＊ ＊		
12月	2	【パンツ】裏パターンの考え方												
	5	【皮革について】⑥種類・特性・扱い方										＊ニット まとめ		
	5	【毛皮について】③ 種類・特性・扱い方										＊裏パターンまとめ		
	5	【レースについて】④ 種類・特性・扱い方										＊オリジナルショップデザイン		
1月	5	【フォーマルウェアについて】										＊特殊素材まとめ		
	7	【子供服】 体型の違いによるパターン変化										＊フォーマルまとめ		
	2月	29	様々なアイテムの応用パターン										＊オリジナルショップ	
＊オリジナルショップ商品 5～10着										オリジナルショップ オリジナルショップ				
後期テスト										オリジナルショップ				
オリジナルショップ 出店										オリジナルショップ				
留意事項														
教材、資料等		文化ファッション体系『スカート・パンツ』『ブラウス・ワンピース』『ジャケット・ベスト』 ヒロ・デザインジャケット冊子、プリントコピー												
評価方法 対象・比重		・製作物75％・提出物(レポート)10％・取組姿勢15％ ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。												

学科名	ファッション流通ビジネス科 ブライダル科 プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
英会話									15			
担当教員	嶋田 有華				科目区分	講義		演習	30%	実習	70%	
授業目的	英語の基礎能力を高めること。 自己表現力を高め、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。											
到達目標	英語を上達させ、英語でのコミュニケーションができるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	3	①授業内容説明・挨拶・自己紹介・プレゼンテーション・友人他己紹介 ・基本的な質問と回答・好きな事、嫌いなことを表現する。・毎日の活動 ・ロープレ										
5月	5	・日本の文化と外国の文化旅行英会話・プレゼン場所を表す前置詞 道案内・ショッピング（ファッション／色からの英語表現）										
6月	3	・読書・ロープレ・日常生活で役立つフレーズ・学んだこと ・感謝することなど										
7月	2	旅行、買い物や（英語ミニテキストから）自由作文										
8月												
9月	2	ヒアリングテスト、リスニングテスト、筆記テスト										
留意事項	準会場申し込み要・試験代は生徒が自己負担。											
教材・資料等	英会話の本・英検過去問題											
評価方法 対象・比重	・評価テスト70％・取組姿勢30％ 期末テスト * 試験、課題制作物とも優(90点以上)(GP4点)、良° (89~80)(GP3点)、 良(79~70)、(GP2点)可(69~60)(GP1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
英会話									18			
担当教員	嶋田 有華				科目区分	講義		演習	30%	実習	70%	
授業目的	自己表現力を高め、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。											
到達目標	英検取得, 文法を上達する為、綺麗な英会話を出来るように。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	・読書・ロープレ・日常生活で役立つフレーズ										
		・学んだこと・感謝することなど										
11月	3	(ロールプレイング) PPT コミュニケーション										
12月	3	世界中のブライダル スタイル グループ 研究 (Course group)										
		プレゼンテーション										
1月	3	旅行、買い物や、将来の夢										
		自由作文										
2月	3	復習 ヒアリングテスト、リスニングテスト、筆記テスト (Br2,流 b 2)										
3月	2	ヒアリングテスト、リスニングテスト、筆記テスト (PD2)										
留意事項	準会場申し込み要・試験代は生徒が自己負担。											
教材・資料等	英会話の本・英検過去問題											
評価方法 対象・比重	期末テスト * 試験、課題制作物とも優(90点以上)(GP4点)、良° (89~80)(GP3点)、 良(79~70)、(GP2点)可(69~60)(GP1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
企画									28			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを学ぶ。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行ったうえで企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	＊企画書、ポートフォリオ、ボード、リサーチについて										
	2	＊トレンド分析 A/W コレクション分析										
5月	2	(デザインの潮流・シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど)										
	2	・注目トレンドのリサーチ										
	2	・トレンド検証 (メガトレンド、ジェネラルトレンド、コレクショントレンド、マーケットトレンド)										
	2	・現シーズンS/S マーケットの検証										
6月	2	・次シーズンS/S コレクションの予測										
	2	↓										
		プレゼンテーション										
	2	＊ブランドとは (コンセプト、イメージターゲット、ペルソナ)										
7月	2	・クラスターリサーチ										
	2	・ターゲットライフスタイル分析 ・ペルソナ分析										
		＜イベント 準備日＞										
9月	2	＊オリジナルブランド企画 ターゲットの設定										
		＜期末テスト＞										
	2	↓										
	2	↓										
留意事項												
教材、資料等		・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・ファッションビジネス2級 ・参考資料プリント										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
企画									40			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを学ぶ。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行ったうえで企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	2	*ブランド企画 ・ターゲットの設定とペルソナ分析										
	2	・コンセプトの設定										
	2	↓										
	2	*トレンド分析 S/S コレクション分析										
11月	2	(テーマ・シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど)										
	2	・注目トレンドのリサーチ										
	2	↓ ・現シーズンA/Wの検証とマーケットリサーチ ・次シーズンA/Wの予想										
	2	プレゼンテーション										
12月	2	・シーズンサイクルとMD企画										
	2											
	2	・シーズンテーマの設定										
1月	2	・アイテム展開とコーディネートイメージ										
	2											
	2											
	2											
2月	2											
	2											
	2											
		< 期末テスト >										
3月	2	↓										
	2	ブランド企画のプレゼンテーション										
留意事項												
教材、資料等		・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・ファッションビジネス2級 ・参考資料プリント										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名		プロフェッショナルデザイン科										
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
生産管理									19			
担当教員	井手 真由				科目区分	講義	100%	演習		実習		
授業目的	アパレル業界における生産管理の必要性とその管理の目的を理解する											
到達目標	PDCAを理解し、何事においても自分で計画、行動し、その結果の検討、処置が出来るようになる。											
	常に問題意識を持ち、原因追及、対処が自分で考えられるようになる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	管理とは何なのか、生産管理の必要性について(管理が必要となった背景を含め理解する)										
		アパレル業界の生産構造と機能について アパレル業界仕事について(種類、役割について理解を深める)										
		アパレル生産の流れ(企画から生産、流通への一連の流れについて)生産と物流										
11月	3	商品化計画(商品を作る流れと生産管理の役割) アパレル生産管理、素材調達管理 物流、SCMについて										
		管理のサークルについて(PDCAの考え方を理解する										
12月	4	生産管理の実務(アパレル生産工場、日本の生産背景など)										
		生産管理と品質管理について(生産、環境問題、安全性に関して)										
		原価について(どのようにして原価が決まるのか、原価の構造について)、小テスト ＊オリジナルショップ出店に伴う実務										
1月	3	販売の面から見た品種と品質について(グレードの違いを理解)										
		品質管理の4m、6m										
		納品とクレームについて ＊オリジナルショップ出店に伴う実務										
2月	3	PD 生産の面から見た生産管理 (工場の選定や素材調達、原価交渉、納期管理等)										
		生産企画(生産戦略に関して)										
3月	2	後期評価テスト										
		「生産管理・品質管理」まとめと検査・検品について オリジナルショップ出店 実務										
留意事項												
教材、資料等		教科書:ファッションビジネス2級 資料:アパレル生産管理、アパレル品質管理、生産企画、品質企画、織研新聞 プリント対応										
評価方法 対象・比重		後期評価テスト70%、小テスト及び提出物20%、取組姿勢10% ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	ファッション流通ビジネス科・プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	2	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
アパレル品質									17			
担当教員	北崎 秀子				科目区分	講義	80%	演習	20%	実習		
授業目的	アパレル製品の多様化に対応するため、適切な素材の選択・縫製・仕立映えの評価ができるようになる。消費者に満足感を抱かせる内容の理解と製品化した洋服の取り扱いとアフターケアについて学ぶ。											
到達目標	アパレル製品の取り扱いを含むメリット・デメリットの特性を理解し、品質向上に留意できるようになる。縫製の良し悪し、価格帯の違いなど素材との関連性を理解する。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	3	アパレル製品に求められる品質と機能 (品質管理とは・・・PDCA 品質検査基準ガイドラインについて) 品質評価 上衣、スカート、パンツ、ニットなど各アイテムのチェックポイント 消費者、小売における品質 染色堅牢度 形態安定性										
5月	3	品質表示 家庭用品品質表示法に基づく繊維製品の品質表示 ・繊維の組成表示・家庭洗濯等取扱方法 ・表示者名・混用率・絵表示の理解										
6月	5	原産国表示 ・実際の商品表示 ・PL法・薬事法・JISサイズ表示 ・国内、国外のサイズ表記 アパレル製品の取り扱い・手入れ ・耐洗濯性										
7月	3	汚れと洗浄過程 繊維、製品に適した洗剤 洗剤と耐光性 ドライクリーニングと家庭洗濯 アイロン、漂白、増白、しみ抜き										
8月												
9月	3	アパレル製品の保管 ・保管の条件・保管の方法 商品の保証について クレームについて クレーム対策 取扱い注意事項 製品の品質保証										
留意事項												
教材、資料等		文化ファッション体系『アパレル素材論』日本ファッション教育振興協会『ファッション販売2』 織研新聞、テキスタイルハンドブック										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70％・提出物(課題・レポート)15％・取組姿勢15％ *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										